

シマムセン DS オーディオ試聴会報告(2026.1.18)(HP 収載)
—光カートリッジ&光カートリッジ対応フォノアンプ—

1. はじめに

シマムセンで開催された DS オーディオの光カートリッジ試聴会に行ってきました。

2. シマムセン DS オーディオの光カートリッジ試聴会の開催要項と使用機器

日時	2026 年 1 月 18 日(日)	
	『DS Audio 光カートリッジ&光対応フォノイコライザー 試聴会』	
	第①部 13:00～14:30	
	◇DS Audio / DS W3 と SOULNOTE / E-2 ver.2 の比較試聴	
	第②部 15:00～16:30	
	◇DS Audio / TB-100 と Phasemation / EA-1500 の比較試聴	
	※①部と②部では別内容の講演予定です	
	[①部②部共通使用機材]	
	[プリアンプ]	Accuphase / C-3900S (¥2,420,000)
	[パワーアンプ]	Accuphase / A-300 (¥2,970,000)
	[クリーン電源]	Accuphase / PS-1250 (¥880,000)
	[スピーカー]	Sonusfaber / Amati G5 (¥7,260,000/ペア)
	[①部使用機材]	
	[光カートリッジ]	DS Audio / DS-W3CR (¥495,000)
	[フォノイコライザー]	DS Audio / DS-W3EQ (¥935,000)
		SOULNOTE / E-2 (¥682,000)
	[②部使用機材]	
	[光カートリッジ]	DS Audio / DS-W3CR (¥495,000)
	[フォノイコライザー]	DS Audio / TB-100 (¥2,420,000)
		Phasemation / EA-500 (¥2,640,000)
会場	CYMA Event Room (シマムセン別館 2 F)	

講師	メーカー担当者
内容	<p>DS Audio 光カートリッジと光対応フォノイコライザーアンプの試聴会を開催いたします。</p> <p>従来の MC / MM 方式とは一線を画す「光カートリッジ」は、発電コイルや磁気回路を持たず、カンチレバーの微細な動きを“光”で読み取る独自方式により、ノイズや歪みの少ない、極めて純度の高いアナログ再生を実現します。</p> <p>本イベントでは、DS Audio の最新世代カートリッジ DS W3 を中心に、専用イコライザー DS W3 EQ、真空管式フォノアンプ TB-100 を組み合わせ、光カートリッジならではの音楽表現を、実際の再生を通して体感していただきます。また比較試聴として、SOULNOTE E-2 Ver.2、Phasemation EA-1500 といった高品位な光カートリッジ対応フォノアンプも使用し、光カートリッジでの様々な音色をお楽しみいただきます。</p> <p>当日は内容を分けた二部制とし、各回ごとに異なる組み合わせ・テーマでの講演と試聴を予定しております。</p>
リンク	ホームページ【DS Audio】



光カートリッジ &
光対応フォノアンプ試聴会

1月18日



DS Audio / DS W3 EQ



DS Audio / DS W3 CR



SOULNOTE / E2 Ver.2



DS Audio / TB-100



Phasemation / EA-1500

〈開催時間〉 ※①部と②部で別内容の講演予定です

第①部 13:00-14:30
第②部 15:00-16:30

▶【SOULNOTE / E-2 Ver.2 & DS Audio / DS W3】の講演・試聴
▶【Phasemation / EA-1500 & DS Audio / TB-100】の講演・試聴

〈会場〉 CYMA イベントルーム



大阪市浪速区日本橋4-5-20

ご予約・お問い合わせ

Tel 06-6632-2854
WEBサイト shimamusen.co.jp

イベント情報はこちら/




当日のセッティング

3. 試聴経過

1月18日(日)の第①部に参加しました。予定は、光カートリッジはDS Audio / DS-W3CR を使用し、光対応フォノイコライザーはDS Audio / DS-W3EQ と SOULNOTE / E-2 ver.2 の比較試聴ということです。

まずは、光カートリッジの歴史、構造、原理などの説明が、タブレットと模型を使って説明がありました。また、技術資料を公開し、ライセンス料も取らない方針ということでアンプメーカーから光対応フォノイコライザーの開発が進んでいるということでした。

最初にシマムセンのホームページの予告にはなかった光カートリッジDS E-3 を使ったダイアナ・クラールのボーカル試聴から始まりましたが、ソフトタッチの囁くようなボーカルのニュアンスが聴けました。

次にリストのハンガリー狂詩曲2番がかかりましたが、十分な解像度もあり、ストレートですっきりとした音でしたが、反面弦の湿度感はありません。RCA Victor 盤でしたが、イコライザー特性の忠実度は把握できず、また過度の広がり感があったので位相合わせはできていないように感じました。

ここからはカートリッジの比較ということで E-3 と W3CR を交互に切り替えて試聴していきました。エレキギターと男性ボーカルの曲でしたが、E-3 ではシャープでギターの立ち上がりや余韻も十分で、W3CR にするとさらに響きの良さと音に厚みがでてきました。

次に光対応フォノイコライザーの比較ということで、DS-W3EQ と SOULNOTE の E-2 を 交互に切り替えて試聴していきました。

最初はビル・エヴァンスでしたが、ともにクリアーで切れの良い音です。

次に、お馴染みのファリャの三角帽子の LONDON 盤がかかりましたが、W3EQ は立ち上がりがよく、打楽器や拍手もシャープな感じですが、弦の湿度感や過度の広がり感があり、ベルガンサのボーカルも定位が甘く、位相合わせができていなように感じました。SOULNOTE の E-2 にしますと、シャープな音が後退し、光カートリッジらしさは W3EQ に軍配が上がります。

セリーヌ・ディオンのボーカルでは E-2 から W3EQ にしますとクリアーなところが向上するように感じます。

最後に、盤の偏心を測定する ES 002 の効果を確認するデモがありました。盤の偏心の規格は 0.3mm ですが、かならずしもそれが守られていないそうです。セリーヌ・ディオンの盤の測定結果は 0.35mm でそれを 0.015 mm まで低下させて聴きなおしましたが、確かに見通しがよくなった印象です。

4. まとめ

光カートリッジの詳細な紹介や光カートリッジを広めたいという熱意はよくわかりました。音質については解像度が高く、すっきりとした音質であることが確認できましたが、イコライザー特性の忠実度は、TELEC カーブの盤などで確認したいところですし、位相に関する考えも知りたいところです。

以上